



安全データシート

Copyright, 2021, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および／またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。（１）3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。（２）本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	06-0792-9	版	11.00
発行日	2021/10/19	前発行日	2016/07/13

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称

3MTM 肉もち シーラー 8533

3M スtockナンバー

JS-3000-0080-4

会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	オート・アフターマーケット 製品事業部技術部
電話番号	042-779-2185

2. 危険有害性の要約

GHS分類

引火性液体： 区分2

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性： 区分2A

皮膚腐食性/刺激性： 区分2

生殖毒性： 区分1

発がん性： 区分2

特定標的臓器毒性（単回ばく露）： 区分2

特定標的臓器毒性（単回ばく露）： 区分3

特定標的臓器毒性（反復ばく露）： 区分1

水生環境有害性 短期（急性）： 区分2

水生環境有害性 長期（慢性）： 区分3

GHSラベル要素

注意喚起語

危険

シンボル

炎 感嘆符 健康有害性

ピクトグラム



危険有害性情報

H225	引火性の高い液体及び蒸気
H319	強い眼刺激
H315	皮膚刺激
H336	眠気又はめまいのおそれ
H360	生殖能または胎児への悪影響のおそれ
H351	発がんのおそれの疑い
H371	臓器の障害のおそれ： 心・血管系。 神経系。 腎臓。 呼吸器
H372	長期あるいは反復ばく露による臓器の障害： 神経系。 呼吸器 感覚器。
H401	水生生物に毒性
H412	長期継続的影響により水生生物に有害

注意書き

安全対策

P201	使用前に取扱説明書を入手すること。
P202	安全上の注意事項をすべて読んで、理解するまで取り扱わないこと。
P210A	熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
P240B	容器を接地しアースをとること。
P242A	火花を発生させない工具を使用すること。
P243A	静電気放電に対する措置を講ずること。
P241	防爆型の電気機器／換気装置／照明機器を使用すること。
P260	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
P271	野外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
P280E	保護手袋を着用すること。
P270	この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
P264	取扱後はよく洗うこと。
P273	環境への放出を避けること。

応急措置

P304 + P340	吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい状態を確保すること。
P303 + P361 + P353A	皮膚（または髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を水またはシャワーで洗うこと。
P305 + P351 + P338	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P337 + P313	眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。
P302 + P352	皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹼）で洗うこと。
P332 + P313	皮膚刺激が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
P362 + P364	汚染された衣類を脱ぐこと。再利用する場合は洗うこと。
P308 + P311	ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡する事。
P308 + P313	ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。
P321	特別な処置が必要である（このラベルの説明を見よ）。
P312	気分が悪いときは医師に連絡すること。
P314	気分が悪いときは、医師の診断／手当てを受けること。
P370 + P378G	火災の場合：消化するために 粉末消火剤または炭酸ガスなどの可燃性液体および可燃性固体用消火薬剤を使用すること。

保管

P403 + P233	換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
P403 + P235	換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
P405	施錠して保管すること。

廃棄

P501	内容物／容器を国際、国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄すること。
------	------------------------------------

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
合成ゴム	営業秘密	10 - 30
メチルイソブチルケトン	108-10-1	10 - 20
タルク	14807-96-6	7.0 - 13
エチレングリコール	107-21-1	< 10
酸化チタン(IV)	13463-67-7	< 10
酸化亜鉛	1314-13-2	< 10
ブチルフェノール樹脂	なし	3.0 - 7.0
変性フェノール樹脂	なし	3.0 - 7.0
酸化マグネシウム	1309-48-4	1.0 - 5.0
サリチル酸	69-72-7	1.0 - 5.0
0-クレゾール	95-48-7	< 1.0
フェノール	108-95-2	< 1.0
トルエン	108-88-3	30

4. 応急措置

応急措置**吸入した場合**

新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

皮膚に付着した場合

直ちに多量の水で15分以上洗浄する。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。症状が続く場合は医療機関を受診する。

眼に入った場合

直ちに多量の水で洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。すすぎ続ける。直ちに医療機関を受診する。

飲み込んだ場合

口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

重大な症状や影響はない。毒物学的影響に関する情報はセクション11を参照する。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

本製品にはエチレングリコールが含まれている。エチレングリコールによる毒性症状が発現したと考えられる場合は、医療処置として、ホメピゾールまたは、エタノール（ホメピゾールを推奨するが、ホメピゾールが入手できない場合はエタノール）を静脈注射する。

5. 火災時の措置

消火剤

火災の場合：消化するために 粉末消火剤または炭酸ガスなどの可燃性液体および可燃性固体用消火薬剤を使用すること。

使ってはならない消火剤

情報なし。

特有の危険有害性

火災の熱で密封された容器内の圧力が増し、爆発するおそれがある。

有害な分解物または副生成物**物質**

炭化水素類
一酸化炭素
二酸化炭素

条件

燃焼中
燃焼中
燃焼中

消火作業者の保護

水は消火には効果的ではないが、火炎にさらされた容器を冷却して爆発を防ぐために使用する。ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びブボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

区域から退避させること。熱／火花／裸火／高温の物体などの着火源から遠ざけること。禁煙。火花を発生させない工具を使用すること。新鮮な空気ですその場所を換気する。大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場

所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。 警告！モーターは着火源になる。漏洩個所に発生している引火性のガスや蒸気の着火源となり、燃焼・爆発を起こす可能性がある。 物理的有害性、健康有害性、呼吸保護、換気、個人防護については本SDSの他の項目を参照。

環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

アルコールやアセトンのような水溶性溶剤に適した泡消火薬剤で漏洩箇所を覆う。 ベントナイト、バーミキュライトあるいは市販の無機吸収剤を用い、漏洩物の周囲から内側に向けて覆う。漏洩箇所が乾燥するまで十分に吸収剤を混ぜ合わせる。 吸収剤を加えても物理的危険性や健康および環境影響に関する有害性を有することに留意する。 出来る限り多くの漏洩物を防爆仕様の道具を使って回収する。 金属製の容器に収納する。 有資格者・専門家が選択した適切な溶剤を使用して残留物を清掃する。新鮮な空気に換気する。溶剤のラベルとSDSを参照し、安全な取り扱い方法に従う。 容器を密封する。 回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

工業用又は業務用。消費者用用途への販売、使用禁止。 密閉された換気不良の場所で使用しないこと。 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 熱／火花／裸火／高温の物体などの着火源から遠ざけること。禁煙。 火花を発生させない工具を使用すること。 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。 眼、皮膚、衣類につけないこと。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱後はよく洗うこと。 環境への放出を避けること。 酸化剤との接触を避ける（塩素、クロム酸等）。 指定された個人保護具を使用する。

保管

換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。 容器を密閉しておくこと。 熱から離して保管する。 酸から離して保管する。 強塩基から離して保管する。 酸化剤から離して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理項目

許容濃度及び管理濃度

セクション3に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
エチレングリコール	107-21-1	ACGIH	TWA(蒸気部分):25 ppm;STEL(蒸気部分):50 ppm;STEL(吸入性エアロゾル):10 mg/m ³	A4: ヒトに対して発がん性物質として分類できない物質
メチルイソブチルケトン	108-10-1	ACGIH	TWA: 20ppm、STEL: 75ppm	A3: 動物発がん性物質
メチルイソブチルケトン	108-10-1	ISHL	TLV (8時間): 20 ppm	
メチルイソブチルケトン	108-10-1	JSOH OELs	TWA (8時間): 200 mg/m ³ (50 ppm)	2B: ヒトに対して発がん性の可能性がある。
トルエン	108-88-3	ACGIH	TWA: 20 ppm	A4: ヒトに対して発がん性物質として分類で

				きない物質。耳毒性物質。
トルエン	108-88-3	ISHL	TLV（8時間）：20 ppm	
トルエン	108-88-3	JSOH OELs	TWA（8時間）：188 mg/m ³ (50 ppm)	皮膚
フェノール	108-95-2	ACGIH	TWA：5ppm	A4：ヒトに対して発がん性物質として分類できない物質、皮膚吸収の危険性
フェノール	108-95-2	JSOH OELs	TWA（8時間）：19 mg/m ³ (5 ppm)	皮膚
酸化マグネシウム	1309-48-4	ACGIH	TWA（吸入性分画）：10 mg/m ³	A4：ヒトに対して発がん性物質として分類できない物質
酸化亜鉛	1314-13-2	ACGIH	TWA（吸入性分画）：2 mg/m ³ 、STEL（吸入性分画）：10mg/m ³	
酸化亜鉛	1314-13-2	JSOH OELs	TWA(総粉じんとして) (8 hours):4 mg/m ³ ;TWA(吸入性粉塵として) (8 hours):1 mg/m ³ ;限度値は確立されていない。	
酸化チタン(IV)	13463-67-7	ACGIH	TWA：10 mg/m ³	A4：ヒトに対して発がん性物質として分類できない物質
酸化チタン(IV)	13463-67-7	JSOH OELs	TWA(総粉じんとして) (8時間):4 mg/m ³ ; TWA(吸入性粉じんとして) (8時間):1 mg/m ³ ; TWA(8時間):0.3mg/m ³	2B：ヒトに対して発がん性の可能性がある。
タルク	14807-96-6	ACGIH	TWA（吸入性分画）：2 mg/m ³	A4：ヒトに対して発がん性物質として分類できない物質
タルク	14807-96-6	JSOH OELs	TWA(総粉じんとして) (8時間):2 mg/m ³ ;TWA(吸入性粉じんとして) (8時間):0.5 mg/m ³	
クレゾール（オルト、メタ、パラ）	95-48-7	ISHL	TLV（8時間）：5 ppm	
クレゾール（オルト、メタ、パラ）	95-48-7	JSOH OELs	TWA（8時間）：22 mg/m ³ (5pppm)	皮膚
0-クレゾール	95-48-7	ACGIH	TWA（吸入性分画および蒸気）：20 mg/m ³	A4：ヒトに対して発がん性物質として分類できない物質、皮膚吸収の危険性

ACGIH：American Conference of Governmental Industrial Hygienists

AIHA：American Industrial Hygiene Association

ISHL：労働安全衛生法作業環境評価基準

JSOH OELs：日本産業衛生学会許容濃度

TWA：時間加重平均値
 STEL：短時間ばく露限界値
 CEIL：天井値

ばく露防止策

設備対策

空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フューム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。

保護具

眼の保護具

ばく露評価結果に準じた眼・顔の保護具を選択・使用する。下記の眼・顔の保護具を推奨します。
 間接式換気ゴーグル

皮膚及び身体の保護具

ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。注：保護性を高めるために樹脂ラミネートされた手袋にニトリルゴム製の手袋を重ねてもよい。
 推奨される手袋の材質：樹脂ラミネート。

呼吸用保護具

ばく露評価によって保護マスクが必要と判断される場合には、適切なものを使用する。ばく露評価結果に基づいて以下のものから保護マスクを選択する：
 有機ガス及び微粒子用半面形あるいは全面形防毒・防じんマスク。

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観	液体
物理的状态：	ペースト
色	灰色
臭い	溶剤
臭いの閾値	データはない。
pH	データはない。
融点・凝固点	データはない。
沸点、初留点及び沸騰範囲	111 °C [詳細：トルエン]
引火点	4 °C [試験方法：クローズドカップ法]
蒸発速度	データはない。
引火性（固体、ガス）	適用しない。
燃焼点（下限）	1.2 容量%
燃焼点（上限）	8 容量%
蒸気圧	3,200 Pa
蒸気密度/相対蒸気密度	2.5 [参照基準：空気＝1]

密度	データはない。
比重	1.04 [参照基準：水=1]
溶解度	なし。
溶解度（水以外）	データはない。
n-オクタノール/水分分配係数	データはない。
発火点	データはない。
分解温度	データはない。
粘度/動粘度	データはない。
揮発性有機化合物	536 g/l
揮発分	50 %
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 (JIS-GHSの要求項目ではない)	データはない。

ナノパーティクル

この製品はナノパーティクルを含有する。

10. 安定性及び反応性

反応性

この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

化学的安定性

安定。

危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件

熱。

火花ないし炎

混触危険物質

強酸

強塩基

強酸化性物質

危険有害な分解物

物質

条件

知見はない。

11. 有害性情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

眼に入った場合

眼への激しい刺激： 発赤、腫脹、痛み、催涙、角膜の曇り、視力障害などの症状。

皮膚に付着した場合

皮膚刺激： 発赤、腫脹、かゆみ、乾燥、水疱、ひび、痛みなどの症状。

吸入した場合

吸入すると有害のおそれ 気道刺激： 咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、鼻と喉の痛みなどの症状。 その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

飲み込んだ場合

胃腸への刺激： 腹痛、胃痛、吐き気、嘔吐、下痢などの症状。 その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

その他健康影響情報

特定標的臓器毒性、単回ばく露

心臓への影響： 不整脈、脈拍数の変動、心筋障害、心不全などが発現し、死に至ることがある。 中枢神経機能の抑制： 頭痛、目眩感、眠気、協調障害、吐き気、反応時間遅延、言語障害、目眩及び意識喪失などの症状。 神経への影響： 性格の変化、協調障害、感覚喪失、四肢の刺痛又はしびれ、虚弱、ふるえ、血圧変化及び心拍数変化などの症状。 吸入作用： 症状は咳、息切れ、胸部圧迫感、喘鳴。 頻脈、皮膚蒼白（チアノーゼ）、痰、肺機能検査の変化、呼吸不全。 腎臓・膀胱への影響： 尿量の変化、下腹部又は腰の痛み、尿中蛋白の増加、血中尿素窒素の増加、血尿、排尿痛などの症状。

長時間又は反復暴露した場合：

塵肺症： 持続性のせき、無呼吸、胸痛、喀痰増加、肺機能検査結果の変化などの症状。 眼に対する影響： ばやけたり、重大な視力障害などの症状。 聴覚への影響： 聴覚障害、平衡機能異常及び耳鳴りなどの症状。 嗅覚への影響： 嗅覚能力の低下もしくは嗅覚の完全な消失などの症状。

生殖毒性

出生異常ないし他の生殖障害性のある化学物質を、単体または混合物として含有する。

発がん性

発がん性のある化学物質を、単体あるいは混合物として含有する。

毒性データ

セクション3に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無い、分類するに十分なデータが無い場合があります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	皮膚		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
製品全体	吸入－蒸気 (4 時間)		データ無し：計算された急性毒性推定値20 - 50 mg/l

製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
トルエン	皮膚	ラット	LD50 12,000 mg/kg
トルエン	吸入－蒸気 (4 時間)	ラット	LC50 30 mg/l
トルエン	経口摂取	ラット	LD50 5,550 mg/kg
メチルイソブチルケトン	皮膚	ウサギ	LD50 > 16,000 mg/kg
メチルイソブチルケトン	吸入－蒸気 (4 時間)	ラット	LC50 >8.2, <16.4 mg/l
メチルイソブチルケトン	経口摂取	ラット	LD50 3,038 mg/kg
タルク	皮膚		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
タルク	経口摂取		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
サリチル酸	皮膚	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
サリチル酸	経口摂取	ラット	LD50 891 mg/kg
酸化亜鉛	皮膚		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
酸化マグネシウム	皮膚	専門家 による 判断	LD50 推定値 2,000 - 5,000 mg/kg
酸化マグネシウム	経口摂取	ラット	LD50 3,870 mg/kg
酸化亜鉛	吸入－粉塵/ ミスト (4 時間)	ラット	LC50 > 5.7 mg/l
酸化亜鉛	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
エチレングリコール	経口摂取	ヒト	LD50 1,600 mg/kg
エチレングリコール	吸入－粉塵/ ミスト (4 時間)	その他	LC50 推定値 5 - 12.5 mg/l
エチレングリコール	皮膚	ウサギ	9,530 mg/kg
酸化チタン(IV)	皮膚	ウサギ	LD50 > 10,000 mg/kg
酸化チタン(IV)	吸入－粉塵/ ミスト (4 時間)	ラット	LC50 > 6.82 mg/l
酸化チタン(IV)	経口摂取	ラット	LD50 > 10,000 mg/kg
0-クレゾール	皮膚	ウサギ	LD50 890 mg/kg
0-クレゾール	吸入－蒸気 (4 時間)	ラット	LC50 > 24.5 mg/l
0-クレゾール	経口摂取	ラット	LD50 121 mg/kg
フェノール	吸入－蒸気		LC50 推定値 2 - 10 mg/l
フェノール	皮膚	ラット	LD50 670 mg/kg
フェノール	経口摂取	ラット	LD50 340 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
トルエン	ウサギ	刺激物
メチルイソブチルケトン	ウサギ	軽度の刺激
タルク	ウサギ	刺激性なし
サリチル酸	ウサギ	刺激性なし
酸化マグネシウム	専門家による判断	刺激性なし
酸化亜鉛	ヒト及び動物	刺激性なし
エチレングリコール	ウサギ	わずかな刺激
酸化チタン(IV)	ウサギ	刺激性なし
0-クレゾール	ウサギ	腐食性

フェノール	ラット	腐食性
-------	-----	-----

眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
トルエン	ウサギ	中程度の刺激
メチルイソブチルケトン	ウサギ	軽度の刺激
タルク	ウサギ	刺激性なし
サリチル酸	ウサギ	腐食性
酸化亜鉛	ウサギ	軽度の刺激
エチレングリコール	ウサギ	軽度の刺激
酸化チタン (IV)	ウサギ	刺激性なし
0-クレゾール	ウサギ	腐食性
フェノール	ウサギ	腐食性

呼吸器感作性または皮膚感作性

皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
トルエン	モルモット	区分に該当しない。
メチルイソブチルケトン	モルモット	区分に該当しない。
サリチル酸	マウス	区分に該当しない。
酸化亜鉛	モルモット	区分に該当しない。
エチレングリコール	ヒト	区分に該当しない。
酸化チタン (IV)	ヒト及び動物	区分に該当しない。
フェノール	モルモット	区分に該当しない。

光感作性

名称	生物種	値又は判定結果
サリチル酸	マウス	感作性なし

呼吸器感作性

名称	生物種	値又は判定結果
タルク	ヒト	区分に該当しない。

生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
トルエン	In vitro	変異原性なし
トルエン	In vivo	変異原性なし
メチルイソブチルケトン	In vitro	変異原性なし
タルク	In vitro	変異原性なし
タルク	In vivo	変異原性なし
サリチル酸	In vitro	変異原性なし
サリチル酸	In vivo	変異原性なし
酸化マグネシウム	In vitro	変異原性なし
酸化亜鉛	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。

酸化亜鉛	In vivo	陽性データはあるが、分類には不十分。
エチレングリコール	In vitro	変異原性なし
エチレングリコール	In vivo	変異原性なし
酸化チタン (IV)	In vitro	変異原性なし
酸化チタン (IV)	In vivo	変異原性なし
0-クレゾール	In vivo	変異原性なし
0-クレゾール	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
フェノール	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
フェノール	In vivo	陽性データはあるが、分類には不十分。

発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
トルエン	皮膚	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。
トルエン	経口摂取	ラット	陽性データはあるが、分類には不十分。
トルエン	吸入した場合	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。
メチルイソブチルケトン	吸入した場合	多種類の動物種	発がん性
タルク	吸入した場合	ラット	陽性データはあるが、分類には不十分。
酸化マグネシウム	特段の規定はない。	ヒト及び動物	陽性データはあるが、分類には不十分。
エチレングリコール	経口摂取	多種類の動物種	発がん性なし
酸化チタン (IV)	経口摂取	多種類の動物種	発がん性なし
酸化チタン (IV)	吸入した場合	ラット	発がん性
0-クレゾール	皮膚	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。
0-クレゾール	経口摂取	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。
フェノール	皮膚	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。
フェノール	経口摂取	ラット	陽性データはあるが、分類には不十分。

生殖毒性

生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
トルエン	吸入した場合	雌について生殖毒性は区分されない	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく
トルエン	吸入した場合	雄について生殖毒性は区分されない	ラット	NOAEL 2.3 mg/l	1 世代
トルエン	経口摂取	発生機能に有毒	ラット	LOAEL 520 mg/kg/day	妊娠期間中
トルエン	吸入した場合	発生機能に有毒	ヒト	NOAEL 非該当	中毒ないし乱用時
メチルイソブチルケトン	吸入した場合	雌について生殖毒性は区分されない	多種類の動物種	NOAEL 8.2 mg/l	2 世代
メチルイソブチルケトン	経口摂取	雄について生殖毒性は区分されない	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	13 週
メチルイソブチルケトン	吸入した場合	雄について生殖毒性は区分されない	多種類の動物種	NOAEL 8.2 mg/l	2 世代
メチルイソブチルケトン	吸入した場合	発生毒性は区分されない	マウス	NOAEL 12.3 mg/l	器官発生期
タルク	経口摂取	発生毒性は区分されない	ラット	NOAEL 1,600	器官発生期

				mg/kg	
サリチル酸	経口摂取	発生機能に有毒	ラット	NOAEL 75 mg/kg/day	器官発生期
酸化亜鉛	経口摂取	生殖・発生毒性の分類外	多種類の動物種	NOAEL 125 mg/kg/day	交配前および妊娠中。
エチレングリコール	皮膚	発生毒性は区分されない	マウス	NOAEL 3, 549 mg/kg/day	器官発生期
エチレングリコール	経口摂取	発生毒性は区分されない	マウス	LOAEL 750 mg/kg/day	器官発生期
エチレングリコール	吸入した場合	発生毒性は区分されない	マウス	NOAEL 1, 000 mg/kg/day	器官発生期
0-クレゾール	経口摂取	雌について生殖毒性は区分されない	ラット	NOAEL 450 mg/kg/day	2 世代
0-クレゾール	経口摂取	雄について生殖毒性は区分されない	ラット	NOAEL 450 mg/kg/day	2 世代
0-クレゾール	経口摂取	発生毒性は区分されない	ラット	NOAEL 175 mg/kg/day	2 世代
フェノール	経口摂取	雌について生殖毒性は区分されない	ラット	NOAEL 321 mg/kg/day	2 世代
フェノール	経口摂取	雄について生殖毒性は区分されない	ラット	NOAEL 321 mg/kg/day	2 世代
フェノール	経口摂取	発生毒性は区分されない	ラット	NOAEL 120 mg/kg/day	器官発生期

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
トルエン	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト	NOAEL 非該当	
トルエン	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト	NOAEL 非該当	
トルエン	吸入した場合	免疫システム	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 0. 004 mg/l	3 時間
トルエン	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト	NOAEL 非該当	中毒ないし乱用時
メチルイソブチルケトン	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト	LOAEL 0. 1 mg/l	2 時間
メチルイソブチルケトン	吸入した場合	呼吸器への刺激	呼吸器への刺激のおそれ。	ヒト	NOAEL 0. 9 mg/l	7 分
メチルイソブチルケトン	吸入した場合	脈管系	区分に該当しない。	イヌ	NOAEL 非該当	非該当
メチルイソブチルケトン	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ラット	LOAEL 900 mg/kg	適用しない。
酸化マグネシウム	吸入した場合	呼吸器系	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 非該当	
エチレングリコール	経口摂取	心臓 神経系 腎臓および膀胱 呼吸器系	臓器への影響	ヒト	NOAEL 非該当	中毒ないし乱用時
エチレングリコール	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト	NOAEL 非該当	中毒ないし乱用時
エチレングリコール	経口摂取	肝臓	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 非該当	中毒ないし乱用時
0-クレゾール	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト	NOAEL 非該当	
0-クレゾール	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ラット	LOAEL 68 mg/kg	
フェノール	皮膚	造血システム	臓器への影響	ラット	LOAEL 108 mg/kg	非該当

フェノール	皮膚	心臓 神経系 腎臓および膀胱	臓器への影響	ラット	LOAEL 107 mg/kg	24 時間
フェノール	皮膚	肝臓	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 非該当	非該当
フェノール	吸入した場合	呼吸器への刺激	呼吸器への刺激のおそれ。	多種類の動物種	NOAEL 非該当	非該当
フェノール	経口摂取	腎臓および膀胱	臓器への影響	ラット	NOAEL 120 mg/kg/day	適用しない。
フェノール	経口摂取	呼吸器系	臓器への影響	ヒト	NOAEL 非該当	中毒ないし乱用時
フェノール	経口摂取	内分泌系 肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 224 mg/kg	適用しない。
フェノール	経口摂取	心臓	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 非該当	中毒ないし乱用時

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
トルエン	吸入した場合	聴覚系 眼 嗅覚系	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ヒト	NOAEL 非該当	中毒ないし乱用時
トルエン	吸入した場合	神経系	長期ばく露又は反復ばく露による臓器障害のおそれ	ヒト	NOAEL 非該当	中毒ないし乱用時
トルエン	吸入した場合	呼吸器系	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	LOAEL 2.3 mg/l	15 月
トルエン	吸入した場合	心臓 肝臓 腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 11.3 mg/l	15 週
トルエン	吸入した場合	内分泌系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1.1 mg/l	4 週
トルエン	吸入した場合	免疫システム	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 非該当	20 日
トルエン	吸入した場合	骨、歯、爪及び/又は毛髪	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 1.1 mg/l	8 週
トルエン	吸入した場合	造血器系 脈管系	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく
トルエン	吸入した場合	消化管	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 11.3 mg/l	15 週
トルエン	経口摂取	神経系	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 625 mg/kg/day	13 週
トルエン	経口摂取	心臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 2,500 mg/kg/day	13 週
トルエン	経口摂取	肝臓 腎臓および膀胱	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 2,500 mg/kg/day	13 週
トルエン	経口摂取	造血器系	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 600 mg/kg/day	14 日
トルエン	経口摂取	内分泌系	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 105 mg/kg/day	28 日
トルエン	経口摂取	免疫システム	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 105 mg/kg/day	4 週
メチルイソプチルケトン	吸入した場合	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.41 mg/l	13 週
メチルイソプチルケトン	吸入した場合	心臓	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 0.8 mg/l	2 週
メチルイソプチルケトン	吸入した場合	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 0.4 mg/l	90 日
メチルイソプチルケトン	吸入した場合	呼吸器系	区分に該当しない。	多種類	NOAEL 4.1	14 週

シ	場合			の動物 種	mg/l	
メチルイソブチルケト ン	吸入した 場合	内分泌系 造血 器系	区分に該当しない。	多種類 の動物 種	NOAEL 0.41 mg/l	90 日
メチルイソブチルケト ン	吸入した 場合	神経系	区分に該当しない。	多種類 の動物 種	NOAEL 0.41 mg/l	13 週
メチルイソブチルケト ン	経口摂取	内分泌系 造血 器系 肝臓 腎 臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	13 週
メチルイソブチルケト ン	経口摂取	心臓 免疫シス テム 筋肉 神 経系 呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,040 mg/kg/day	120 日
タルク	吸入した 場合	塵肺症	長期あるいは反復ばく露によ り組織に悪影響を及ぼす。	ヒト	NOAEL 非該 当	職業性被ば く
タルク	吸入した 場合	肺線維症 呼吸 器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 18 mg/m ³	113 週
サリチル酸	経口摂取	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 500 mg/kg/day	3 日
酸化亜鉛	経口摂取	神経系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 600 mg/kg/day	10 日
酸化亜鉛	経口摂取	内分泌系 造血 器系 腎臓およ び膀胱	区分に該当しない。	その他	NOAEL 500 mg/kg/day	6 月
エチレングリコール	経口摂取	腎臓および膀胱	陽性データはあるが、分類に は不十分。	ラット	NOAEL 200 mg/kg/day	2 年
エチレングリコール	経口摂取	脈管系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 200 mg/kg/day	2 年
エチレングリコール	経口摂取	心臓 造血器系 肝臓 免疫シ ステム 筋肉	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	2 年
エチレングリコール	経口摂取	呼吸器系	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 12,000 mg/kg/day	2 年
エチレングリコール	経口摂取	皮膚 内分泌系 骨、歯、爪及び /又は毛髪 神経 系 眼	区分に該当しない。	多種類 の動物 種	NOAEL 1,000 mg/kg/day	2 年
酸化チタン(IV)	吸入した 場合	呼吸器系	陽性データはあるが、分類に は不十分。	ラット	LOAEL 0.01 mg/l	2 年
酸化チタン(IV)	吸入した 場合	肺線維症	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 非該 当	職業性被ば く
0-クレゾール	経口摂取	神経系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 600 mg/kg/day	90 日
0-クレゾール	経口摂取	造血器系 肝臓 免疫システム 腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 2,024 mg/kg/day	90 日
フェノール	皮膚	神経系	長期ばく露又は反復ばく露に よる臓器障害のおそれ	ウサギ	LOAEL 260 mg/kg/day	18 日
フェノール	吸入した 場合	心臓 肝臓 腎 臓および膀胱 呼吸器系	長期あるいは反復ばく露によ り組織に悪影響を及ぼす。	モルモ ット	LOAEL 0.1 mg/l	41 日
フェノール	吸入した 場合	神経系	長期ばく露又は反復ばく露に よる臓器障害のおそれ	多種類 の動物 種	LOAEL 0.1 mg/l	14 日
フェノール	吸入した 場合	造血器系	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 非該 当	職業性被ば く
フェノール	吸入した 場合	免疫システム	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.1 mg/l	2 週

フェノール	経口摂取	腎臓および膀胱	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ラット	NOAEL 12 mg/kg/day	14 日
フェノール	経口摂取	造血器系	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	マウス	LOAEL 1.8 mg/kg/day	28 日
フェノール	経口摂取	神経系	長期ばく露又は反復ばく露による臓器障害のおそれ	ラット	LOAEL 308 mg/kg/day	13 週
フェノール	経口摂取	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 40 mg/kg/day	14 日
フェノール	経口摂取	呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	LOAEL 40 mg/kg/day	14 日
フェノール	経口摂取	免疫システム	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 1.8 mg/kg/day	28 日
フェノール	経口摂取	内分泌系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 120 mg/kg/day	14 日
フェノール	経口摂取	皮膚 骨、歯、爪及び/又は毛髪	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 1,204 mg/kg/day	103 週

吸引性呼吸器有害性

名称	値又は判定結果
トルエン	吸入有害性
メチルイソブチルケトン	陽性データはあるが、分類には不十分。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの1ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。セクション2の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生毒性（慢性）

GHS水生環境有害性（長期間）区分3：長期継続的影響によって水生生物に有害。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
合成ゴム	営業秘密		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			N/A
メチルイソブチルケトン	108-10-1	緑藻類	実験	96 時間	EC50	400 mg/l
メチルイソブチルケトン	108-10-1	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	>200 mg/l
メチルイソブチルケトン	108-10-1	ゼブラフィッシュ	実験	96 時間	LC50	>179 mg/l
メチルイソブチルケトン	108-10-1	ファットヘッドミノウ（魚）	実験	32 日	NOEC	56.2 mg/l
メチルイソブチルケトン	108-10-1	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	78 mg/l
メチルイソブチルケトン	108-10-1	液状化	実験	30 分	EC50	>1,000

タルク	14807-96-6		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			N/A
エチレングリコール	107-21-1	バクテリア	実験	16 時間	EC50	10,000 mg/l
エチレングリコール	107-21-1	ファットヘッド ミノウ (魚)	実験	96 時間	LC50	8,050 mg/l
エチレングリコール	107-21-1	緑藻類	実験	72 時間	EC50	>1,000 mg/l
エチレングリコール	107-21-1	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	>1,100 mg/l
エチレングリコール	107-21-1	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	1,000 mg/l
エチレングリコール	107-21-1	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	100 mg/l
酸化チタン(IV)	13463-67-7	液状化	実験	3 時間	NOEC	>=1,000 mg/l
酸化チタン(IV)	13463-67-7	珪藻	実験	72 時間	EC50	>10,000 mg/l
酸化チタン(IV)	13463-67-7	ファットヘッド ミノウ (魚)	実験	96 時間	LC50	>100 mg/l
酸化チタン(IV)	13463-67-7	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	>100 mg/l
酸化チタン(IV)	13463-67-7	珪藻	実験	72 時間	NOEC	5,600 mg/l
酸化亜鉛	1314-13-2	液状化	推定値	3 時間	EC50	6.5 mg/l
酸化亜鉛	1314-13-2	緑藻類	推定値	72 時間	EC50	0.052 mg/l
酸化亜鉛	1314-13-2	ニジマス	推定値	96 時間	LC50	0.21 mg/l
酸化亜鉛	1314-13-2	ミジンコ	推定値	48 時間	EC50	0.07 mg/l
酸化亜鉛	1314-13-2	緑藻類	推定値	72 時間	NOEC	0.006 mg/l
酸化亜鉛	1314-13-2	ミジンコ	推定値	7 日	NOEC	0.02 mg/l
酸化マグネシウム	1309-48-4		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			N/A
サリチル酸	69-72-7	緑藻類	実験	72 時間	EC50	>100 mg/l
サリチル酸	69-72-7	メダカ	実験	96 時間	LC50	>100 mg/l
サリチル酸	69-72-7	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	870 mg/l
サリチル酸	69-72-7	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	10 mg/l
サリチル酸	69-72-7	液状化	実験	3 時間	EC50	>3,200
サリチル酸	69-72-7	バクテリア	実験	18 時間	EC10	465
0-クレゾール	95-48-7	液状化	実験	5 日	EC50	940 mg/l
0-クレゾール	95-48-7	バクテリア	実験	16 時間	NOEC	33 mg/l
0-クレゾール	95-48-7	魚 (その他)	実験	96 時間	LC50	6.2 mg/l
0-クレゾール	95-48-7	緑藻類	実験	96 時間	EC50	65 mg/l
0-クレゾール	95-48-7	ミジンコ	実験	48 時間	LC50	9.6 mg/l
0-クレゾール	95-48-7	ファットヘッド ミノウ (魚)	推定値	32 日	NOEC	1.35 mg/l
0-クレゾール	95-48-7	ミジンコ	推定値	21 日	NOEC	1 mg/l
0-クレゾール	95-48-7	藻類	実験	96 時間	NOEC	40 mg/l
フェノール	108-95-2	バクテリア	実験	24 時間	IC50	21 mg/l
フェノール	108-95-2	緑藻類	実験	96 時間	EC50	61.1 mg/l
フェノール	108-95-2	ニジマス	実験	96 時間	LC50	8.9 mg/l
フェノール	108-95-2	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	3.1 mg/l
フェノール	108-95-2	魚 (その他)	実験	60 日	NOEC	0.077 mg/l
フェノール	108-95-2	ミジンコ	実験	16 日	NOEC	0.16 mg/l
トルエン	108-88-3	ギンザケ	実験	96 時間	LC50	5.5 mg/l
トルエン	108-88-3	テナガエビ	実験	96 時間	LC50	9.5 mg/l
トルエン	108-88-3	緑藻類	実験	72 時間	EC50	12.5 mg/l
トルエン	108-88-3	トノサマガエル	実験	9 日	LC50	0.39 mg/l
トルエン	108-88-3	カラフトマス	実験	96 時間	LC50	6.41 mg/l
トルエン	108-88-3	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	3.78 mg/l
トルエン	108-88-3	ギンザケ	実験	40 日	NOEC	1.39 mg/l
トルエン	108-88-3	珪藻	実験	72 時間	NOEC	10 mg/l
トルエン	108-88-3	ミジンコ	実験	7 日	NOEC	0.74 mg/l
トルエン	108-88-3	液状化	実験	12 時間	IC50	292 mg/l

トルエン	108-88-3	バクテリア	実験	16 時間	NOEC	29 mg/l
トルエン	108-88-3	バクテリア	実験	24 時間	EC50	84 mg/l
トルエン	108-88-3	シマミミズ	実験	28 日	LC50	>150 mg/kg(体重)
トルエン	108-88-3	土壌微生物	実験	28 日	NOEC	<26 mg/kg (乾燥重量)

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
合成ゴム	営業秘密	データ不足			N/A	
メチルイソブチルケトン	108-10-1	実験 光分解		光分解半減期 (空气中)	2.3 日 (t 1/2)	
メチルイソブチルケトン	108-10-1	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	83 % BOD/ThBOD	OECD 301F
タルク	14807-96-6	データ不足			N/A	
エチレングリコール	107-21-1	実験 生分解性	14 日	生物学的酸素要求量	90 % BOD/ThBOD	OECD 301C-MITI (1)
酸化チタン(IV)	13463-67-7	データ不足			N/A	
酸化亜鉛	1314-13-2	データ不足			N/A	
酸化マグネシウム	1309-48-4	データ不足			N/A	
サリチル酸	69-72-7	実験 生分解性	14 日	生物学的酸素要求量	88.1 % BOD/ThBOD	OECD 301C-MITI (1)
0-クレゾール	95-48-7	実験 生分解性	20 日	生物学的酸素要求量	86 % BOD/ThBOD	非標準的な手法
フェノール	108-95-2	実験 生分解性	100 時間	生物学的酸素要求量	62 % BOD/ThBOD	OECD 301C-MITI (1)
トルエン	108-88-3	実験 光分解		光分解半減期 (空气中)	5.2 日 (t 1/2)	
トルエン	108-88-3	実験 生分解性	20 日	生物学的酸素要求量	80 % BOD/ThBOD	APHA標準試験水/排水

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
合成ゴム	営業秘密	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
メチルイソブチルケトン	108-10-1	実験 生態濃縮		オクタノール/水分配係数	1.9	OECD 117、log Kow (オクタノール/水分配係数)、高速液体クロマトグラフィー
タルク	14807-96-6	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
エチレングリコール	107-21-1	実験 生態濃縮		オクタノール/水分配係数	-1.36	非標準的な手法
酸化チタン(IV)	13463-67-7	実験 BCF-Carp	42 日	生物濃縮係数	9.6	非標準的な手法
酸化亜鉛	1314-13-2	実験 BCF-Carp	56 日	生物濃縮係数	≤217	OECD 305E- 生態濃縮 魚類
酸化マグネシウム	1309-48-4	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
サリチル酸	69-72-7	実験 生態濃縮		オクタノール/水	2.26	

				分配係数		
0-クレゾール	95-48-7	実験 BCFーその他		生物濃縮係数	10.7	OECD 305E- 生態濃縮 魚類
フェノール	108-95-2	実験 生態濃縮		オクタノール/水分配係数	1.47	非標準的な手法
トルエン	108-88-3	実験 BCFーその他	72 時間	生物濃縮係数	90	
トルエン	108-88-3	実験 生態濃縮		オクタノール/水分配係数	2.73	

土壌中の移動性

データはない。

オゾン層への有害性

データはない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

国連番号及び品名： 1 1 3 3 接着剤

輸送分類（IMO）：3 引火性液体

輸送分類（IATA）：3 引火性液体

容器等級：I

国内規制がある場合の規制情報

取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、船舶安全法などの法令の定めるところに従う。

15. 適用法令

国内法規制及び関連情報**日本国内法規制（主な適用法令）**

労働安全衛生法：施行令 1 8 条の 2 名称等を通知すべき有害物

労働安全衛生法：施行令 1 8 条有害物質（表示物質）

労働安全衛生法：施行令別表第 6 の 2 有機溶剤

労働安全衛生法：施行令別表第三第二項 特化則第二類物質

化管法：第 1 種指定化学物質

消防法：第四類第一石油類

船舶安全法、航空法：引火性液体類

主な法規制物質

法規名

成分	安衛法（表示・通知）	化管法	毒劇法
酸化チタン(IV)	191（二酸化チタン）	該当なし	該当なし
0-クレゾール	141（クレゾール） 141（o-クレゾール）	該当なし	該当なし
酸化亜鉛	188（酸化亜鉛）	該当なし	該当なし
トルエン	407（トルエン）	第1種300（トルエン）	該当なし
エチレングリコール	75（エチレングリコール）	該当なし	該当なし
フェノール	474（フェノール）	該当なし	該当なし
メチルイソブチルケトン	569（メチルイソブチルケトン）	該当なし	該当なし

16. その他の情報

改訂情報

セクション1：所在地 情報修正.
 セクション1：担当部門名 情報修正.
 セクション1：製品名 情報修正.
 セクション2：環境影響ステートメント 情報修正.
 セクション2：GHS分類 情報修正.
 セクション2：有害性ステートメント - 区分1 特定標的臓器毒性、反復暴露 情報修正.
 セクション2：有害性ステートメント - 区分2 特定標的臓器毒性、単回暴露 情報修正.
 セクション2：健康有害性 情報修正.
 セクション2：物理化学的危険性のステートメント 情報修正.
 セクション2：注意書き - 廃棄 情報修正.
 セクション2：注意書き - 安全対策 情報修正.
 セクション2：注意書き - 応急措置 情報修正.
 セクション2：注意書き - 保管 情報修正.
 セクション2：注意喚起語 情報修正.
 セクション3：成分表 情報修正.
 セクション3：「この製品は混合物です。」の標準フレーズ 情報修正.
 セクション4：応急措置（急性・遅発性症状） 情報修正.
 セクション4：応急措置 - 医療機関への報告（REACH/GHS） 情報修正.
 セクション4：応急措置（眼に入った場合）の情報 情報修正.
 セクション4：応急措置（飲み込んだ場合）の情報 情報修正.
 セクション4：応急措置（吸入した場合）の情報 情報修正.
 セクション4：応急措置（皮膚の接触した場合）の情報 情報修正.
 セクション4：毒性学的影響情報 情報の削除.
 セクション5：火災時情報（消火法） 情報修正.
 セクション5：火災時情報（消火剤） 情報修正.
 セクション5：火災時情報（特殊有害性） 情報修正.
 セクション5：燃焼時有害性の表 情報修正.
 セクション6：封じ込め及び浄化の方法及び機材 情報修正.
 セクション6：事故漏出時の清掃 情報修正.
 セクション6：事故漏出時の措置 情報修正.
 セクション6：事故漏出時の人体に対する注意事項 情報修正.
 セクション7：貯蔵情報 情報修正.
 セクション7：取り扱い時の安全注意喚起情報 情報修正.
 セクション8：職業暴露情報 情報修正.

セクション 8 : 眼および顔面保護 情報修正.
セクション 8 : 作業環境許容値 情報修正.
セクション 8 : OEL登録機関の説明 情報修正.
セクション 8 : 保護具 - 眼 情報修正.
セクション 8 : 保護具 - 吸入 情報修正.
セクション 8 : 保護具 - 皮膚/手 情報修正.
セクション 8 : 呼吸器保護 - 推奨する呼吸用保護具のガイド 情報修正.
セクション 8 : 呼吸器保護 - 推奨する呼吸保護具の情報 情報修正.
セクション 8 : 皮膚保護 - 推奨する手袋情報 情報修正.
セクション 8 : 皮膚保護 - 推奨する手袋 情報修正.
セクション 8 : STL記号 情報修正.
セクション 8 : TWA記号 情報修正.
セクション 9 : 沸点/初留点/沸騰範囲 情報修正.
セクション 9 : 分解温度 情報修正.
セクション 9 : 融点/凝固点 情報修正.
セクション 9 : 色 情報の追加.
セクション 9 : 蒸発速度情報 情報修正.
セクション 9 : 燃焼性 (固体、ガス) 情報 情報修正.
セクション 9 : 燃焼点 (下限) 情報 情報修正.
セクション 9 : 燃焼点 (上限) 情報 情報修正.
セクション 9 : 引火点情報 情報修正.
セクション 9 : ナノパーティクル 情報の追加.
セクション 9 : n-オクタノール/水分分配係数の情報 情報修正.
セクション 9 : 臭気限界 情報修正.
セクション 9 : 臭い、色、グレード情報 情報の削除.
セクション 9 : 揮発分 情報の追加.
セクション 9 : pH情報 情報修正.
セクション 9 : 追加性状に関する記載 情報の削除.
セクション 9 : 比重情報 情報修正.
セクション 9 : 溶解性 (水以外) 情報修正.
セクション 9 : 水溶解性 情報修正.
セクション 9 : 蒸気密度/相対蒸気密度 情報の追加.
セクション 9 : 蒸気密度の値 情報の削除.
セクション 9 : 蒸気圧 情報修正.
セクション 9 : 粘度 情報の削除.
セクション 9 : 粘度 情報の追加.
セクション 9 : 水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 情報の追加.
セクション 9 : 揮発性有機化合物 情報の追加.
セクション 10 : 反応性情報 情報修正.
セクション 10 : 有害分解物 情報修正.
セクション 10 : 避けるべき条件 情報修正.
セクション 10 : 有害な分解物の表 情報修正.
セクション 10 : 有害な重合反応の性状 情報修正.
セクション 10 : 避けるべき物質 情報修正.
セクション 11 : 急性毒性の表 情報修正.
セクション 11 : 追加毒性情報のステートメント 情報修正.
セクション 11 : 吸引毒性の表 情報修正.
セクション 11 : 発がんハザードの情報 情報修正.
セクション 11 : 発がん性の表 情報修正.

セクション 1.1 : 分類放棄声明 情報修正.
セクション 1.1 : 表テキストに非開示の成分 情報修正.
セクション 1.1 : 生殖胞変異原性の表 情報修正.
セクション 1.1 : 健康影響情報 (眼) 情報修正.
セクション 1.1 : 健康影響情報 (飲み込んだ場合) 情報修正.
セクション 1.1 : 健康影響情報 (吸入した場合) 情報修正.
セクション 1.1 : 健康影響情報 (皮膚) 情報修正.
セクション 1.1 : 光感作性の表 情報修正.
セクション 1.1 : 長時間又は反復暴露した場合の標準フレーズ 情報修正.
セクション 1.1 : 生殖発生影響 情報修正.
セクション 1.1 : 生殖毒性の情報 情報修正.
セクション 1.1 : 生殖毒性の表 情報修正.
セクション 1.1 : 呼吸器感作性の表 情報修正.
セクション 1.1 : 重篤な眼へのダメージ/刺激の表 情報修正.
セクション 1.1 : 単回ばく露時の標準フレーズ 情報修正.
セクション 1.1 : 皮膚腐食性/刺激性の表 情報修正.
セクション 1.1 : 皮膚感作性の表 情報修正.
セクション 1.1 : 標的臓器 - 反復ばく露の表 情報修正.
セクション 1.1 : 標的臓器 - 単回ばく露の表 情報修正.
セクション 1.2 : 水生生物への慢性毒性情報 情報修正.
セクション 1.2 : 危険性の分類 情報修正.
セクション 1.2 : 成分生態毒性情報 情報修正.
セクション 1.2 : 材料の生態毒性に関するデータテキストなし 情報修正.
セクション 1.2 : 残留性および分解性の情報 情報修正.
セクション 1.2 : 生態濃縮性情報 情報修正.
セクション 1.3 : 廃棄物の処理ノート 情報修正.
セクション 1.4 : 輸送上の注意の標準フレーズ 情報修正.
セクション 1.4 : IATA分類の標準フレーズ 情報修正.
セクション 1.4 : IMO分類の見出し標準フレーズ 情報修正.
セクション 1.4 : 国連番号の標準フレーズ 情報修正.
セクション 1.5 : 法規名 - 表 情報修正.
セクション 1.5 : 適用法規のステートメント 情報修正.
セクション 1.6 : UK放棄声明 情報の削除.
セクション 1.6 : Webアドレス 情報修正.

免責事項: この安全データシートへの情報は、発行時において正確であると信じられるものです。当社は、法的な要求事項を除き、安全データシートへの記載事項について、製品の使用に伴う損失や災害等を補償するものではありません。本安全データシートへの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。したがって、製品が使用目的に合致しているかについては、お客様ご自身でご確認ください。

3M ジャパン グループの SDS は日本のウェブサイトから入手できます。